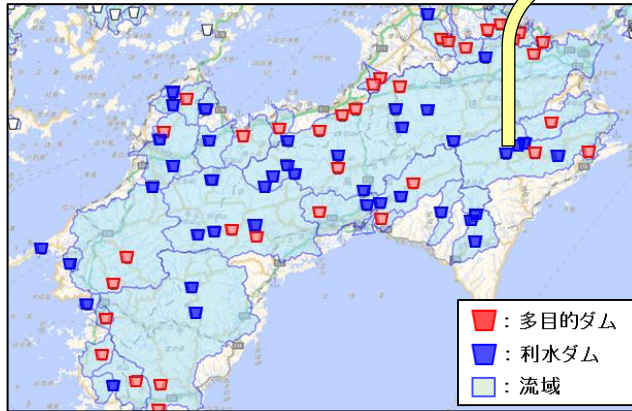


ダムの実タイムデータを集約・一元管理し、水系全体での効果的なダム運用を実現する（全国）

事業者：河川管理者

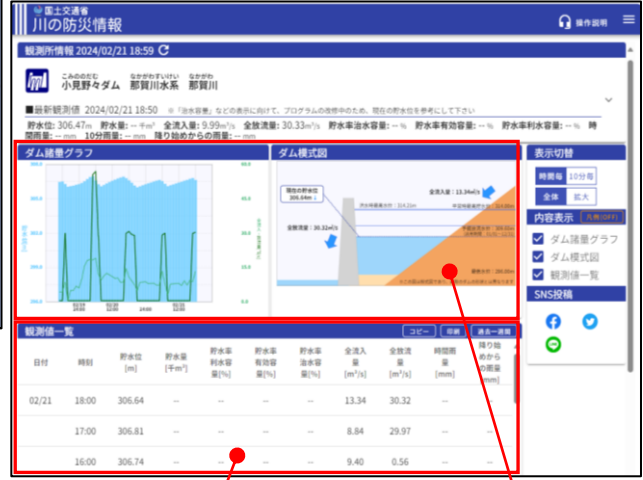
▼ダム位置図（四国）



既存ダムの諸量データの  
リアルタイム集約

水系全体での統合運用

▼川の防災情報  
（徳島県那賀川水系利水ダム）



ダム諸量  
（放流量、流入量、貯水位等）

ダム諸量グラフ  
ダム模式図

対策名：115 河川、砂防、海岸分野における防災情報等の高度化対策

主たる施策グループ：1-4) 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）



事業名：河川管理者とダム管理者との間の情報網整備

- ポイント
- 利水ダムのリアルタイムデータを河川管理者で集約・一元管理
  - 水系における効果的なダム運用を実現し、河川氾濫の被害を軽減

地域の概要・課題

利水ダムのダム諸量データ（放流量、流入量及び貯水位等）については、河川管理者がリアルタイムで把握できる仕組みとなっておりません。

より効果的な事前放流等のダム運用の実施にあたっては、利水ダムも含めた既存ダムのリアルタイムデータの取得が必要となっていました。

事業の概要

約900の利水ダムのダム諸量データ（放流量、流入量及び貯水位等）を河川管理者が受信、集約、管理するための受信装置等を整備し、「川の防災情報」等で閲覧可能としました。

なお、1級水系の約600の利水ダムにおける整備は完了し、今後、令和7年度までに2級水系の利水ダムに係る河川管理者側の整備を実施します。

見込まれる効果

利水ダムを含めた既存ダムの流入量や放流量などの防災情報等のリアルタイムデータを河川管理者に集約・一元管理することで、水系におけるより効果的な事前放流等の実施のために必要な調整を河川管理者が行うことが可能になります。

これにより、大雨時等においても、急激な水位上昇や河川氾濫を防止し、流域の浸水被害を軽減します。



▲河川管理者による川の防災情報確認状況

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対応  
（1）人命・財産の被害を防止し、最小化するための対策

（2）交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス  
への転換に向けた老朽化対策

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
（1）国土強靱化に関する施策のデジタル化に関する施策の

（2）災害関連情報の予測、収集・集積・伝達の高度化